※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	生活支援技術	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	生活支援技術（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では移動、食事、入浴、衣服の着脱などについての基本的な介護技術を学びます。加えて、高齢者や障がい者が生活する上に課題となる事柄、具体的には居住環境、掃除、買い物、金銭管理などに関する支援のポイント、さらにはレクリエーション・ターミナルケアといったことまで学びます。高齢者や障がい者の生活全般にわたり、支援が必要となる事柄について幅広く学ぶ科目です。

２　学習の到達目標

自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解し、基礎的な介護の知識と技術を習得するとともに、様々な介護場面において適切・安全に支援できる能力を身につける。さらには日常生活で介助が必要な場面があれば実践を試みる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	高齢者などのこころとからだについての知識を得る。その上で、高齢者の生活支援に関する知識を身につける。特に介護技術については実際に行うことができるよう、具体的・実際的に理解する。	生活支援に関する知識を理解し、身につけようと努めている。どのような場合にどのような理論や技術を用いればよいか自ら考え、実践しようとする。	高齢者や障がい者には生活上、どのような課題があるか積極的に理解する。車いす移動、食事介助、衣服着脱介助、レクリエーションの支援、ボディメカニクスを活かした介助などについて基本的な技術を身につけ日常生活の中で実践する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期前半	生活支援の理解	・生活の理解 ・生活支援の考え方 ・生活支援と介護過程 ・多職種協働と他の専門職の役割	a:「個人の尊厳」「自立」「自己決定」「ノーマライゼーション」などの介護・福祉の理念を理解し、日常の生活の中でこれらの諸理念を意識して行動しようとする。多職種が連携して介護・福祉が支えられていることを知る。それぞれの職種の役割について理解する。 b: 支援を必要とする人のアセスメントをICFを通して行い、適切な支援内容を考えることができる。 c:支援を必要とする人のアセスメントを試み、何がデマンドか、ニーズかを判断することができる。介護福祉士以外の職種についても関心をもち、可能であれば自身の進路選択の一つの候補とする。	小テスト	小テスト 授業中の発問への解答状況	ワークシートの取り組み 授業中の発問への解答状況 実習への取り組み

※令和４年度以降入学生用

	自立に向けた生活支援	・居住環境の整備 ・家事の支援 ・身じたくの支援 ・移動の支援 ・食事の支援 ・入浴・清潔保持の支援 ・排泄の支援 ・睡眠・休養の支援 ・レクリエーションの支援	a: 基本的な介護技術や支援の方法について知識と理解をもつ。食事や入浴の介護など、介護は生命に関わる場面があることを理解し、正確な知識と理解をもとうとする。 b:高齢者や障がい者個々の身体状況や残存能力に配慮しつつ、日常生活における具体的な介護の場面でどのように介護技術を用いるか、自ら考えようとする。 c: 各項目に対応する体験や実習に関心をもち、積極的に参加する。高齢者や障がい者がどのような点に支援を必要としているか、関心をもつ。身近にいる高齢者や障がい者に支援をしようと心がける。	小テスト	小テスト 授業中の発問への解答状況	ワークシートの取り組み 授業中の発問への解答状況 実習への取り組み
後期後半	緊急時・災害時の支援	・緊急時の支援 ・災害時の支援	a:高齢者に起きる可能性の高い事故について理解し、その対応について理解する。 b:自分の日常生活の中で事故が起きた時も落ち着いて対応できるような心構えを得る。 c:近年、異常気象などによる災害が目立つことをふまえ、災害時における生活支援方法についてはよく理解する。実際の非常時にはその知識を活用する。	小テスト	小テスト 授業中の発問への解答状況	ワークシートの取り組み 授業中の発問への解答状況 実習への取り組み

※令和４年度以降入学生用

	終末期の支援	・終末期の支援 ・死を迎える人への支援と留意点	a:緩和ケア・グリーフケア、また死にゆく人の心の動きや苦痛の内容などを理解している。ターミナル期の身体の状況や介護方法を理解する。 b:死に臨む人の、それぞれの生き方に合わせた生活支援の形を考えることができる。 c: 死に直面した人に、最期までその人らしく生きることができるように配慮できる。緩和ケア・グリーフケア、また死にゆく人の心の動きや苦痛の内容などの理解にもとづき、死に直面した身近な人の生活と心によりそい、支えようとする。	小テスト	小テスト 授業中の発問への解答状況	ワークシートの取り組み 授業中の発問への解答状況 実習への取り組み
	医療的ケア	・医療的ケアの理解 ・高齢者および障害者の喀痰吸引 ・高齢者および障害者の経管栄養	a: それぞれの医療的ケアの概略について理解し、特に実施する際に身体への影響が大きい点について理解する。 b:医療的ケアの手順について関心をもち、詳細に理解する。 c:医療的ケアが利用者にとってその尊厳を保つために極めて重要な行為であり、難しいケアではあるが行わなければならないケアであることを理解する。	小テスト	小テスト 授業中の発問への解答状況	ワークシートの取り組み 授業中の発問への解答状況 実習への取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度